

R6年度事業名	治山事業
R5年度事業名	治山事業

総合戦略体系	441	『住みたいまち』で、さばえる！安心で快適で魅力的なまちをつくる	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
--------	-----	---------------------------------	-------------	------------

PLAN計画	部署名	土木課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	小規模な山崩れ、土石流、地すべり、なだれなどの山地災害により、住宅や公共施設などが災害を受ける恐れがあるところに、治山施設を設置して市民の生命、財産を保全する。					
	概要	山腹工（山腹法面を安定させる土留工）や溪間工（山脚・溪床を固定するための治山ダム）を行う。小規模荒廃地治山事業（県：50%、市：37.5%、地元：12.5%）					
	法令等根拠		実施形態	内容	山腹工、溪間工等治山施設の設置を民間業者に発注する。		
	現在	民間等委託（一部）					

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
溪間工、山腹工の実施箇所数		箇所	目標値	2	3	2	2	6
			実績値	2	3	3	2	
計算根拠	実施箇所数		達成率	100	100	150	100	
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度ランク B、Cの理由								

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	5,800	6,600	6,200	4,500	23,000
決算額	6,000	6,600	6,200	2,850	23,000

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	6	2	1	502	治山事業費	12,700	12,500
2							
3							
4							
5以降							
合計							12,500

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1	治山事業負担金(地元:12.5%)	1,562
2	治山事業費補助金(県:50%)	6,250
3	林道整備事業債	4,600
4		
5以降		
合計		12,412

事業要員	正規職員	0.17
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK

評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	12
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒

維持

取組内容

小規模な山腹崩壊などの山地災害により家屋への被害を防止するため、コルゲートフリューム等の治山施設を整備する。
・西大井町(大型かご、植生シート)
・漆原町(排水フリューム)

来年度へ向けて

R5年度の実績

上河内町、三尾野出作町、西番町の治山施設整備を行った。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

特になし

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

予算計上に向け、事業に対する地権者や地元集落の合意を十分に確認する。

R7方向性⇒

維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	道路交通安全対策事業
R5年度 事業名	道路交通安全対策事業

総合戦略 体系	441	『住みたいまち』で、さばえる！安心で 快適で魅力的なまちをつくる	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
------------	-----	-------------------------------------	-------------	------------

P L A N 計 画	部署名	土木課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	道路反射鏡や防護柵等を設置し、通行者や住民が安全で円滑な通行ができる道路交通環境を確保する。					
	概要	道路交通の安全のため、区画線、道路反射鏡、防護柵（ガードレール・ガードパイプ・転落防護柵）、視線誘導標等の交通安全施設の整備・補修を行う。					
	法令等 根拠	道路交通法	実施 形態	内容	区画線、道路反射鏡、防護柵（ガードレール・ガードパイプ等）、視線誘導標等の交通安全施設の設置・補修を民間に発注する。		
	現在	民間等委託（一部）					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	交通安全対策実施箇所数		箇所	目標値	45	60	65	70	65
				実績値	61	75	80	68	
	計算 根拠	交通安全施設の整備・補修実施箇所数	達成率	135.6	125	123.1	97.1		
			実数値						
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
予算額	11,400	11,330	11,330	13,500	16,000		事業タイプ	単独事業
決算額	11,398	11,329	11,326	13,484	15,983		経費区分	普通建設事業費

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	8	2	2	401	交通安全施設維持補修費	1,000	1,000
2	8	2	2	501	交通安全施設整備費	15,000	15,000
3							
4							
5以降							
						合計	16,000

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1	交通安全対策特別交付金	10,000
2		
3		
4		
5以降		
		合計 10,000

事業要員

正規職員	0.2
会計年度職員	
※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある

合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
14	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない

有効性

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒

取組内容

パトロールを強化し、区画線・道路反射鏡・防護柵等の整備および維持補修を70箇所行方。

来年度へ向けて

R5年度の実績

パトロールを実施し、区画線・道路反射鏡・防護柵等の整備および維持補修を行った。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

路面標示(区画線)である交通安全施設は、3年に1度程度の塗り直しが必要であるが、現状では5年～10年に1度にしに塗り直しができおらず、各地区で路面標示(区画線)が消えかけている路線が数多く存在している。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

路面標示(区画線)を3年に1度程度は塗り直しを実施し、適切な維持管理を行い、交通の安全を確保したい。
特に、全国的に通学路における交通事故が発生しているため、小学校周辺の通学路の安全を確保するため、予算の拡充を必要とする(予算の増額)

R7方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

取組可能な事業の詳細⇒

4 ページ

R6年度 事業名	市道整備(改良・舗装)工事
R5年度 事業名	市道整備(改良・舗装)工事

総合戦略 体系	441	『住みたいまち』で、さばえる！安心で 快適で魅力的なまちをつくる	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
------------	-----	-------------------------------------	-------------	------------

P L A N 計 画	部署名	土木課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市道の整備を行い、通行者や住民に対し交通の安全性や利便性の向上を図る。					
	概要	安全・安心な道路環境を確保するため、通学路の交通安全対策や事故の危険性の高い交差点の通行安全対策などの整備を実施する。					
	法令等 根拠	道路法	実施 形態	内 容	測量設計業務の民間委託および道路改良工事や舗装工事を民間業者に発注する。		
	現在	民間等委託(一部)					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	道路整備等実施箇所数		箇所	目標値	60	60	60	60	60
				実績値	72	79	88	92	
	計算 根拠	工事・補修対応箇所数	達成率	120	131.7	146.7	153.3		
			実数値						
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	107,682	147,970	147,970	161,754	157,970		事業タイプ	単独事業
	決算額	107,682	147,969	147,734	161,686	157,751		経費区分	普通建設事業費
	【単位：千円】								

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	8	2	3	201	道路整備事業費(単独)	158,000	157,970
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	157,970

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	(市債:公共施設等適正管理推進事業)			
	2	(市債:緊急自然災害防止対策事業債)			
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	1.5
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	14
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	道路側溝や舗装等の改良工事を実施する。 市道有定鳥羽線道路改良工事(他59箇所)	

来年度へ向けて	R5年度の実績	道路側溝や舗装等の改良工事を実施した。 市道助生田2号線道路改良工事(他87箇所)
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 安全で快適な道路を維持するため、生活道路(市単)における舗装等の老朽化が各地区で著しく進行しているため、区長より多くの土木行政要望が提出されている。また、近年、交差点での事故防止のための注意喚起の路面標示や区画線の要望も増大していることから、持続的な予算確保が必要である。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 道路通行の安全確保のためには老朽化する舗装や側溝など、道路施設の継続した整備または維持管理を行う必要がある。	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0	
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0	

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	林道事業(県補助)
R5年度 事業名	林道事業(県補助)

総合戦略 体系	450	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	自然環境の保全
------------	-----	--------------------------------------	---------------	---------

P L A N 計 画	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	森林の適正な管理や効率的な林業経営を進めるため林道の整備を行う。				
	概要	林道の改良、舗装、災害復旧工事を行う。県単林道事業(県:50%、市:50%)				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	林道の改良、舗装、維持工事を民間業者に発注する。	
	現在	民間等委託(一部)				

D O 実 施	活動指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難				目標値					
					実績値					
	成果指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	事業実施箇所数			箇所	目標値	4	5	4	6	6
					実績値	4	5	5	6	
	計算 根拠	実施箇所数			達成率	100	100	125	100	
					実数値					
					ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	22,380	20,000	25,600	36,400	29,400		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	22,084	20,000	25,600	36,400	29,400		経費区分	普通建設事業費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	6	2	1	501	林道事業費(県補助)	29,300	31,200
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	31,200

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	県単林道事業費補助金(県:50%)		15,600	
	2	林道整備事業債		14,000	
	3				
	4				
	5以降				
				合計	29,600

事業要員	正規職員	0.33
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
12	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	森林整備および林業振興ならびに災害の未然防止を図るため、林道の路面改良の工事を実施する。 ・上河内間地線(法面改良40m) ・上戸口線(排水改良15m) ・荒谷線(道路改良10m) ・尾花3号線(道路改良10m)	
来年度へ向けて	R5年度の実績 上河内間地線、沢線、荒谷支線、上河内尾花線、尾花2号線の林道改良を行った。	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 特になし	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	林道事業(単独)
R5年度 事業名	林道事業(単独)

総合戦略 体系	450	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	自然環境の保全
------------	-----	--------------------------------------	---------------	---------

P L A N 計 画	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	森林の適正な管理や効率的な林業経営を進めるため林道の整備を行う。				
	概要	林道の小規模な改良、舗装、維持工事等を行う。(市:100%)				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	林道の小規模な改良、舗装、維持工事を民間業者に発注する。	
	現在	民間等委託(一部)				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	事業実施箇所数		箇所	目標値	4	2	3	4	3
				実績値	4	3	8	8	
	計算 根拠	実施箇所数	達成率	100	150	267	200		
			実数値						
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,400	2,000	2,000	5,437	3,500		事業タイプ	単独事業
	決算額	2,068	1,993	1,989	5,437	3,331		経費区分	普通建設事業費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	6	2	1	202	林道事業費(単独)	7,200	3,500
	2							
	3							
	4							
5以降								
							合計	3,500

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)
	1	林道整備事業債		3,100
	2			
	3			
	4			
5以降				
			合計	3,100

事業要員	正規職員	0.17
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない
12	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	市内林道の崩土除去、路面改良・復旧等の維持工事を行う。 ・寺中2号線、上戸口線、上河内線	

来年度へ向けて	R5年度の実績	三峰線、大野2号線、尾花線、尾花2号線、上戸口線、寺中線、磯部線、上河内間地線の維持工事を行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	特になし
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	橋梁整備事業(新設改良・補修)
R5年度 事業名	橋梁整備事業(新設改良・補修)

総合戦略 体系	441	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
------------	-----	--------------------------------------	-------------	------------

P L A N 計 画	部署名	土木課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	道路施設の長寿命化対策による持続可能な道づくりを推進					
	概要	安心して通行できる道路橋梁の維持保全					
	法令等 根拠	道路法	実施 形態	内容	設計業務等の民間委託および橋梁の改良や補修工事を民間業者に発注		
	現在	民間等委託(一部)					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	橋梁補修実施箇所数		箇所	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	4	3	7	4	
	計算 根拠	工事・補修対応箇所数	達成率	200	150	350	200		
			実数値						
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
決算額	3,990	4,000	3,988	3,924	3,911

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	普通建設事業費

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	8	2	4	201	橋梁維持補修費	2,000	2,000
2	8	2	5	501	橋梁整備事業費(単独)	2,000	2,000
3							
4							
5以降							
						合計	4,000

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	14
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)

☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)

☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)

☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない)

☒ いる ☐ いない

有効性

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない)

☐ いる ☒ いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)

☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒ 維持

取組内容

橋梁のバトロールを実施し、改良・補修を2橋実施する。

来年度へ向けて

R5年度の実績

橋梁点検に基づく橋梁の改良・補修を実施した。
・東鯖江2号橋
・西雨水幹線沿い橋梁(高覧GR補修)

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

特になし

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

特になし

R7方向性⇒ 維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	土地改良事業(県補助)
R5年度 事業名	土地改良事業(県補助)

総合戦略 体系	154	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	持続可能な農業経営の確立	農業基盤の整備促進
------------	-----	-------------------------------	--------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	土木課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	用排水路等の生産基盤整備により、農用地利用の高度化および農業経営の安定化を促進する。					
	概要	集落基盤整備事業 農業用排水路や農道、集落道等の改良工事を行う。(国:50%、県:20%、市:10~30%、地元:0~20%) 県単土地改良事業 農業用排水路や農道等の小規模な整備工事を行う。(県:50%、市:30~50%、地元:0~20%)					
	法令等 根拠	土地改良法	実施 形態	内 容	農業用排水路や農道、集落道の整備を民間業者に発注する。		
	現在	民間等委託(一部)					

D O 実 施	活動指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難				目標値					
					実績値					
	成果指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	事業実施箇所数			箇所	目標値	9	12	13	16	15
					実績値	12	21	22	25	
	計算 根拠	実施箇所数			達成率	133.3	166.7	169.2	156.2	
					実数値					
				ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由										

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	188,438	99,610	143,510	130,300	94,000		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	162,624	93,710	111,710	104,194	73,210		経費区分	普通建設事業費
	【単位:千円】								

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	6	1	6	203	土地改良事業費(県補助)	85,500	94,000
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	94,000

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)
	1	土地改良事業(県補助)負担金(地元:0~20%)		3,000
	2	農村総合整備事業負担金(地元:0~20%)		1,100
	3	県単土地改良事業費補助金(県:50%)		32,000
	4	集落基盤整備事業費補助金(国:50%、県:20%)		21,000
	5以降	農業基盤整備事業債		36,900
			合計	94,000

事業要員	正規職員	2
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	12
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	国土強靱化対策として老朽化した農業用施設の改修を行い、維持管理費の軽減による農業経営の安定化を図る。 ・集落基盤整備事業については、R1~R6の間で事業費および施工地区の平準化を図りながら事業を実施する。(2箇所) ・県単土地改良事業については、緊急性や必要性などを十分考慮し事業を実施する。(14箇所)	
来年度へ向けて	R5年度の実績 ・集落基盤整備事業 舟枝地区他5地区 ・県単土地改良事業 上戸口地区他17地区 R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 特になし 実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし R7方向性⇒ 維持 CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	土地改良事業(単独)
R5年度 事業名	土地改良事業(単独)

総合戦略 体系	154	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	持続可能な農業経営の確立	農業基盤の整備促進
------------	-----	-------------------------------	--------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	土木課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	農道、用排水路等の生産基盤整備により農用地利用の高度化および農業経営の安定化を促進する。					
	概要	市内一円における農道や用排水路等の農業用施設のうち、小規模で緊急を要する整備修繕を行う。(市:60～70%、地元:30～40%)					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	農業用排水路や農道の整備等を民間業者に発注する。		
	現在	民間等委託(一部)					

D O 実 施	活動指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難				目標値					
					実績値					
	成果指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	事業実施箇所数			箇所	目標値	3	3	5	7	9
					実績値	10	16	20	17	
	計算 根拠	実施箇所数			達成率	333.3	533.3	400	242	
					実数値					
					ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	15,700	6,500	4,986	16,128	13,600		事業タイプ	単独事業
	決算額	12,802	5,010	4,980	16,128	12,645		経費区分	普通建設事業費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	6	1	6	204	土地改良事業費(単独)	15,500	13,600
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	13,600

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	土地改良事業(単独)負担金(地元:30~40%)		3,200	
	2	農業基盤整備事業債		10,400	
	3				
	4				
	5以降				
				合計	13,600

事業要員	正規職員	0.33
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
12	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
有効性	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	土地改良区からの要望に対して緊急性の高い農業用施設(用排水路、揚水機場等)から順に工事や修繕を行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	市単土地改良事業 横越地区他19地区
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	特になし
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	生活排水路整備事業
R5年度 事業名	生活排水路整備事業

総合戦略 体系	442	『住みたいまち』で、さばえる！安心で 快適で魅力的なまちをつくる	強靱で安全・安心なまち	浸水被害の軽減
------------	-----	-------------------------------------	-------------	---------

P L A N 計 画	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	水害や土砂災害に強い強靱なまちづくりを推進				
	概要	古くに整備された生活水路や青道水路などは、近年の集中豪雨などで断面不足により溢水被害が各地で発生している。このため、未整備水路や既設排水路を改修し、流下機能の強化など改良を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	設計業務の一部委託および水路工事を民間業者に発注している。	
	現在	民間等委託(一部)				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	治水や環境保全のため緊急を要する工事・補修箇所数		箇所	目標値	5	6	8	6	5
				実績値	8	14	9	13	
	計算 根拠	水路整備箇所数	達成率	160	233.3	112.5	216.6		
			実数値						
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	10,280	10,280	15,280	18,280	20,280		事業タイプ	単独事業
	決算額	10,280	10,273	15,257	17,772	20,163		経費区分	普通建設事業費
	【単位：千円】								

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	8	3	3	201	河川水路整備事業費(単独)	20,280	20,280
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	20,280

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	13
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	生活排水路等の改修工事を6箇所実施する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	生活排水路等の改修工事を9箇所実施した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	古くに整備された既設生活排水路は、近年の集中豪雨等では断面不足が原因により溢水被害が各地で発生している。そのため、未整備水路の整備や既設排水路の改修が各地で必要とされる。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	整備は各地で進めているが、集中豪雨の度に新たな溢水被害箇所が発生している。今後は未整備箇所や被害規模などを考慮し優先順位を付けるなどして整備を推進する。
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	道路消雪事業
R5年度 事業名	道路消雪事業

総合戦略 体系	441	『住みたいまち』で、さばえる！安心で 快適で魅力的なまちをつくる	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
------------	-----	-------------------------------------	-------------	------------

P L A N 計 画	部署名	土木課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	大雪に備えた機能強化を推進					
	概要	冬期の安全な通行を確保するため、消雪施設の整備を行い、大雪に備えた機能強化対策を実施する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	設計業務の一部委託および消雪工事を民間業者に発注している。		
	現在	民間等委託(一部)					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	道路消雪整備実施路線数		路線	目標値	1	3	3	4	4
				実績値	4	3	4	4	
	計算 根拠			達成率	400	100	133	100	
				実数値					
				ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	163,318	152,000	60,000	102,303	65,000		事業タイ	交付金事業
	決算額	163,318	152,000	42,686	102,303	65,000		経費区分	普通建設事業費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	8	2	3	203	社会資本整備総合交付金事業費	410,110	65,000
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	65,000

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	社会資本整備総合交付金		39,000	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	39,000

事業要員	正規職員	0.75
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある

合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
13	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
有効性	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
	取組内容	大雪に備えた機能強化のため消雪施設整備を4路線実施する。

来年度へ向けて	R5年度の実績	国土強靱化の対策として消雪施設の整備を3路線実施した。 ・鯖江駅北線 ・西袋4号線 ・豊北参道線 ・吉江西番線
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	各地区区長から消雪施設について多数要望を受けているが、まずは幹線道路や通学路などの優先に基づく消雪施設整備を実施する必要がある。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	R6年度から新規1路線の幹線道路の消雪整備事業化を目指す。 ・上河端橋立線(社会資本)
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	幹線道路整備事業
R5年度 事業名	幹線道路整備事業

総合戦略 体系	441	『住みたいまち』で、さばえる！安心で 快適で魅力的なまちをつくる	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
------------	-----	-------------------------------------	-------------	------------

P L A N 計 画	部署名	土木課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	安全・安心で快適な道路環境の整備					
	概要	道路環境の適正な維持管理に努め、安全にかつ快適な道路環境のために幹線道路の舗装改良工事を実施する。					
	法令等 根拠	道路法	実施 形態	内 容	設計業務の一部委託		
	現在	民間等委託（一部）					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	幹線道路改良路線数		路線	目標値	4	6	7	8	10
				実績値	8	10	10	11	
	計算 根拠			達成率	200	166.7	142.9	137.5	
				実数値					
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	106,553	85,000	122,020	105,418	94,330		事業タイ	交付金事業
	決算額	106,553	85,000	122,020	105,418	94,330		経費区分	普通建設事業費
	【単位：千円】								

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	8	2	3	203	社会資本整備総合交付金事業費	410,110	50,000
	2	8	2	3	754	社会資本整備総合交付金事業費(明許繰越分)	0	50,000
	3							
	4							
	5以降							
							合計	100,000

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	社会資本整備総合交付金		50,000	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	50,000

事業要員	正規職員	1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	15
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	舗装橋寿命化対策として幹線道路8路線の舗装改良工事を行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	国土強靱化の対策として幹線道路10路線の舗装改良工事を実施した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	大型車の通行が多い幹線道路の舗装は、劣化進行が速いため、定期的な路面性状を調査し、メンテナンスサイクルにより舗装の長寿命化に向けた取り組みが必要であるため、持続的な予算確保が必要である。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	松林保全事業
R5年度 事業名	松林保全事業

総合戦略 体系	450	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	自然環境の保全
------------	-----	--------------------------------------	---------------	---------

P L A N 計 画	部署名	土木課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	松くい虫被害対策を計画的かつ総合的に実施して、その蔓延を防止することにより松林を保全する。 また、松くい虫被害等により、昔の風景であった松林が失われており山林への意識が低下していることから松林の再生を行う。				
	概要	被害調査(県:1/2、市:1/2)、高度公益(県:3/4、市:1/4)、地区保全(県:1/2、市:1/2) また、松くい虫被害等で荒廃している松林の手入れと抵抗性松の植樹による松林再生を市民協働で実施する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	松くい虫の被害調査や伐倒駆除を森林組合に発注する。	
	現在	民間等委託(全部)				

活動指標	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	松林再生等検討会の開催回数		回	目標値			2	2	2
				実績値			2	2	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	事業実施集落数(～2022年度まで)		集落	目標値	1	1			
				実績値	1	1			
	計算 根拠	実施集落数		達成率	100	100			
				実数値					
	松林の再生面積(2023年度～)		ha	目標値			2.9	2.9	2.9
				実績値			2.9	2.9	
	計算 根拠	再生面積		達成率			100	100	
				実数値					
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	868	729	883	1,048	1,156		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	861	724	882	1,034	1,154		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	6	2	1	601	森林病虫害対策事業費	1,210	1,156
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,156

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	森林病虫害対策事業費補助金(県:50%)		498	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	498

事業要員	正規職員	0.17
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
有効性	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	特に松くい虫の被害の大きい河和田地区(尾花町)を中心に、病虫害の拡散を防止するため、松くい虫被害調査、伐倒駆除等について継続的に実施する。なお、「松くい虫被害総合対策事業」と「松林再生モデル事業」はいずれも松林の保全を目的としているため、両事業を統合して「松林保全事業」とする。	
来年度へ向けて	R5年度の実績 市内一円の山林において伐倒駆除等を行った。	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 特になし	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	作業路開設調査事業補助金
R5年度 事業名	作業路開設調査事業補助金

総合戦略 体系	441	『住みたいまち』で、さばえる！安心で 快適で魅力的なまちをつくる	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
------------	-----	-------------------------------------	-------------	------------

P L A N 計 画	部署名	土木課		開始年度	1997	終了年度	9999
	目的	森林整備の促進を図るため、作業路調査を行い森林の健全育成に努める。					
	概要	越前福井森林組合が作業路を開設する前に実施する地籍調査、現地調査（調査に伴う伐開）、測量に対し補助金を交付する。（負担割合：市1/2以内）					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	越前福井森林組合に補助金等を交付して適切な森林整備を図る。		
	現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
作業路調査延長		m	目標値	2,000	1,000	500	500	500
			実績値	0	0	500	500	
計算 根拠	作業路調査延長		達成率	0	0	100	100	
			実数値					
			ランク	C	C	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	900	900	450	225	225		事業タイプ	単独事業
	決算額	0	0	0	225	225		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	6	2	1	605	森林組合補助金	609	225
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	225

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.17
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
10	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
有効性	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	森林の健全育成管理を図るため、除間伐、枝打ち、造林等、森林整備のための作業路開設調査費に対し補助する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	石生谷町の作業道開設に向けた調査を行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	特になし
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	間伐材等有効利用促進事業補助金
R5年度 事業名	間伐材等有効利用促進事業補助金

総合戦略 体系	450	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	自然環境の保全
------------	-----	--------------------------------------	---------------	---------

P L A N 計 画	部署名	土木課		開始年度	1996	終了年度	9999
	目的	間伐材の搬出、運搬に係る経費を助成することにより、森林整備の推進、間伐材の利活用の促進を図るとともに森林所有者の森林管理意欲の喚起および森林の持つ多様な機能の高度発揮に資する。					
	概要	間伐材利用搬出促進事業の事業実施主体である越前福井森林組合に間伐材の搬出、運搬に対し補助金を交付する。（搬出した間伐材の材積に対して補助する。） 鯖江市1,700円／m3<参考:県1,700円／m3>					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	越前福井森林組合に補助金等を交付して適切な森林整備を図る。		
	現在	補助金等交付					

活動指標									
指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難				目標値					
				実績値					
成果指標									
指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
事業実績(量)			m ³	目標値	300	300	200	100	100
				実績値	82	150	131	200	
計算 根拠	間伐材搬出量			達成率	27.3	50	65.5	200	
				実数値					
				ランク	C	C	C		
前年度 ランク B、Cの 理由	新型ウィルスの影響により、土地所有者との合意形成が図れず、計画していた面積の施業ができなかった。								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,020	1,020	510	340	340		事業タイプ	単独事業
	決算額	143	139	162	223	340		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	6	2	1	605	森林組合補助金	609	340
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	340

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.17
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
10	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	間伐材の利活用の促進を図るため、越前福井森林組合が集团的に行う間伐材搬出費用に対し補助する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	間伐材の搬出、運搬に対し補助を行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	特になし
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	土地改良協会運営補助事業
R5年度 事業名	土地改良協会運営補助事業

総合戦略 体系	154	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	持続可能な農業経営の確立	農業基盤の整備促進
------------	-----	-------------------------------	--------------	-----------

PLAN 計画	部署名	土木課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	鯖江市管内の土地改良区相互の連携を図り、土地改良事業等を円滑に推進する。					
	概要	土地改良協会の運営事業に対して補助を行う。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	土地改良協会へ補助金を交付する。		
	現在	補助金等交付					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	補助土地改良区数		土地改良区	目標値	11	11	11	11	11
				実績値	-	-	-	-	-
	計算 根拠	土地改良区数	達成率	-	-	-	-	-	
			実数値						
			ランク	-	-	-			
	前年度 ランク B、Cの 理由								

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	200	180	200	200	200
決算額	0	0	0	0	88

【単位：千円】

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	6	1	6	606	土地改良協会等補助金	2,000	200
2							
3							
4							
5以降							
合計							200

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員

正規職員	0.02
会計年度職員	
※所要時間	

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有効性 成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒維持

取組内容

土地改良区相互の連携および協力、また、土地改良事業の円滑な推進が図れるよう組織体制を維持するために土地改良協会に対して運営費を補助する。
・鯖江市管内の11土地改良区

来年度へ向けて

R5年度の実績

なし

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

特になし

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

特になし

R7方向性⇒維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	土地改良区合同事務所運営補助事業
R5年度 事業名	土地改良区合同事務所運営補助事業

総合戦略 体系	154	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	持続可能な農業経営の確立	農業基盤の整備促進
------------	-----	-------------------------------	--------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	土木課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	事務の効率化、低コスト化を図るため、土地改良区を連携させ、土地改良事業等が円滑に推進できる組織にする。					
	概要	土地改良区合同事務所の運営事業に対して補助を行う。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	事務の効率化、低コスト化を図るため、土地改良区を連携させ土地改良事業等が円滑に推進できる組織にするため運営事業の補助を行う。		
	現在	補助金等交付					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	合同事務所利用土地改良区数		土地改良区	目標値	10	10	10	9	8
				実績値	10	10	10	9	
	計算根拠	土地改良区数		達成率	100	100	100	100	
				実数値					
				ランク	A	A	A		
	前年度ランクB、Cの理由								

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	1,800	1,620	1,800	1,800	1,800
決算額	1,800	1,620	1,800	1,800	1,800

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	6	1	6	606	土地改良協会等補助金	2,000	1,800
2							
3							
4							
5以降							
						合計	1,800

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

事業要員	正規職員	0.02
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある

合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない

有効性

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒ 維持

取組内容

鯖江土地改良合同事務所が行う土地改良区間の連携や事業の効率化、低コスト化、土地改良事業等の円滑化をより一層推進するため運営費に対して補助する。

来年度へ向けて

R5年度の実績

土地改良合同事務所に対し土地改良事業等の円滑化をより一層推進するため、運営費に対して補助を行った。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

特になし

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

特になし

R7方向性⇒ 維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	林道維持管理事業
R5年度 事業名	林道維持管理事業

総合戦略 体系	441	『住みたいまち』で、さばえる！安心で 快適で魅力的なまちをつくる	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
------------	-----	-------------------------------------	-------------	------------

P L A N 計 画	部署名	土木課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	林道の維持管理を行い、林業生産の維持および経営の安定を図る。					
	概要	林道愛護組合等(上河内町・尾花町・沢町・椿坂・寺中町・上戸口町)に林道の維持管理の委託、碎石等原材料の支給を行う。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	林道愛護組合等に林道の維持管理の委託、碎石等原材料の支給を行う。		
	現在	民間等委託(一部)					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	維持管理路線		路線	目標値	13	13	13	13	13
				実績値	13	13	13	13	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	事業実施距離		km	目標値	35	36	36	36	36
				実績値	35	36	36	36	
	計算 根拠	維持管理路線距離		達成率	100	100	100	100	
				実数値					
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	720	674	710	710	710		事業タイプ	単独事業
	決算額	720	634	710	707	682		経費区分	維持補修費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	6	2	1	401	林道維持補修費	710	710
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	710

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.17
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	林業生産の維持および経営の安定を図るため、林道愛護組合等(上河内町、尾花町、沢町、椿坂町、寺中町、上戸口町)に林道の維持管理の委託、碎石等原材料の支給を行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	林道愛護組合(6団体)へ林道の維持管理の委託を行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	特になし
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	安全で安心なコミュニティづくり補助事業(住民参加で雪に強く快適なまちづくり事業)
R5年度 事業名	安全で安心なコミュニティづくり補助事業(住民参加で雪に強く快適なまちづくり事業)

総合戦略 体系	441	『住みたいまち』で、さばえる！安心で 快適で魅力的なまちをつくる	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
------------	-----	-------------------------------------	-------------	------------

P L A N 計 画	部署名	土木課		開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	住民と行政が協働の中で除排雪を行うことにより、地域住民のコミュニティの促進と「雪に強く快適なまちづくり」の推進を図る。					
	概要	①除排雪市民協働補助金(＠30円×市道延長(m)×実施回数) ただし、除排雪作業を行う町内会のうち、市が行う除雪路線を1,500メートル以上代替した町内会において、排雪作業を実施した場合は＠45円×市道延長(m)×実施回数とする。 ②雪置き場支援補助金(固定資産税・都市計画税×2/12)					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	申請者(町内会)からの申請に基づき、補助金を交付する事務である。		
	現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
除雪路線に対する補助対応率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	
計算 根拠			達成率	100	100	100	100	
			実数値	25/25	31/31	32/32	34/34	
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,400	2,920	3,331	2,921	3,331		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,657	2,920	3,331	1,613	2,849		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	8	2	2	203	道路除雪費	356,428	3,331
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	3,331

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
10	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(他事業との連携・統合)
取組内容	各町内区長からの継続要望も強くあり、継続して支援していく。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	R5年度は比較的降雪量が少なかったが、補助金を活用し除雪を行った町内は1件増加した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 事務についてはR6年度から土木課へ移管したため、遺漏なく実施するため早めに準備を行う。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	市民主役によるわが街環境美化事業（道路・河川里親制度）
R5年度 事業名	市民主役によるわが街環境美化事業（道路・河川里親制度）

総合戦略 体系	456	『住みたいまち』で、さばえる！安心で快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	道路・河川・公園の保全
------------	-----	---------------------------------	---------------	-------------

PLAN
計画

部署名	土木課		開始年度	2008	終了年度	9999
目的	市民の身近な公共物である道路の維持管理は、市の施策だけでは充分に行き届かず、雑草やごみなどにより道路環境の悪化につながることもあるため、近隣に居住する市民団体等と協働しながら、道路の環境美化および適正な維持管理を実施する。					
概要	市が管理する道路・河川において、道路・河川・公園養子縁組届および合意書を市長に提出した各地域の自治会または各種団体を里親として登録し、環境美化活動に対して報償費を交付する。					
法令等根拠			実施形態	内容	花苗、花種子、肥料、除草剤、草刈機油、鎌、移植ごて、ゴミ袋、軍手、お茶等の購入費用とし、金額は、5万円を限度として予算の範囲内で交付する。	
現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
広報誌等による周知回数		回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2	
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
新規里親登録の申出に対する養子縁組数 ※～2020		件	目標値					
			実績値					
計算 根拠	新規里親登録申出数		達成率					
			実数値					
里親制度登録町内における活動回数 ※2021～		回	目標値	19	19	22	22	22
			実績値	20	22	24	23	
計算 根拠			達成率	105.3	115.8	109.1	104.5	
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	930	900	800	800	875		事業タイプ	単独事業
	決算額	643	690	734	745	685		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	8	1	1	201	土木管理事務諸経費	8,327	875
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	875

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
9	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	本制度の普及啓発活動を推進し、里親となる団体数の増加を図るとともに、養子縁組した団体に積極的な活動を促し、道路河川的环境美化活動を市民との協働により推進する。	
来年度へ向けて	R5年度実績 新たな養子縁組の申請が4団体あり、合計24団体が里親として、市民参加による道路河川的环境美化活動を実施した。	
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 本制度の目的および意義について周知啓発を行うとともに、要望があれば出前講座など訪問して制度説明を行い、新たな養子縁組の開拓に取り組む。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	橋梁長寿命化修繕事業
R5年度 事業名	橋梁長寿命化修繕事業

総合戦略 体系	441	『住みたいまち』で、さばえる！安心で 快適で魅力的なまちをつくる	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
------------	-----	-------------------------------------	-------------	------------

P L A N 計 画	部署名	土木課		開始年度	2009	終了年度	9999
	目的	道路施設の長寿命化対策による持続可能な道づくりを推進					
	概要	安心して通行できる道路橋梁の維持保全のため、定期点検および詳細調査を実施し、橋梁の個別施設計画を策定または見直しを行い、計画に基づき橋梁の修繕等を進め長寿命対策による持続可能な道づくりを推進する。					
	法令等 根拠	道路法	実施 形態	内容	橋梁の詳細調査・設計業務および工事を民間委託により実施する。		
	現在	民間等委託（一部）					

D O 実 施	活動指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難				目標値					
					実績値					
	成果指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	修繕対応箇所数			箇所	目標値	2	2	2	2	2
					実績値	5	2	2	2	
	計算 根拠	修繕箇所数			達成率	250	100	100	100	
					実数値					
					ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	34,540	37,860	52,568	25,404	12,283		事業タイ	補助(国)事業
	決算額	34,540	37,860	52,568	25,404	12,283		経費区分	普通建設事業費
	【単位:千円】								

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	8	2	3	203	社会資本整備総合交付金事業費	410,110	35,000
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	35,000

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	社会資本整備総合交付金		19,250	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	19,250

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している				
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ					デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み					業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある					市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある					財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安		判定	有効性	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない			
13	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善		維持または事務改善					

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	国土強靱化の対策として橋梁2橋の修繕工事を実施する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	国土強靱化の対策として橋梁2橋について修繕工事を実施した。 ・水落橋 ・東鯖江北2号線
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	中大橋梁について、現段階では早期措置を必要とする橋梁は少ないが、長寿命化するためには予防保全の対策を必要としているため、継続的な予算確保が必要である。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	多面的機能支払交付金事業
R5年度 事業名	多面的機能支払交付金事業

総合戦略 体系	458	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	農業・農村の有する多面的機能の維持、発 揮
------------	-----	--------------------------------------	---------------	--------------------------

P L A N 計 画	部署名	土木課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	地域の共同活動により機能を維持してきた農業用施設の日常的な保全管理活動および長寿命化のための活動等を支援し、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るとともに安定した食料供給に貢献する。				
	概要	農地維持支払：日常的な保全管理活動 田30千円/ha 畑20千円/ha (国:50%、県:25%、市:25%) 資源向上支払(共同活動):農地、農業用施設の補修、修繕などの活動 田18千円/ha 畑10.8千円/ha (国:50%、県:25%、市:25%) 資源向上支払(長寿命化):長寿命化のための活動 田44千円/ha 畑20千円/ha (国:50%、県:25%、市:25%) 推進交付金:事業の円滑な推進に必要な経費(国:100%)				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	取組活動組織からの申請に基づき、国の実施要綱に照らし適正であれば交付する。	
	現在	補助金等交付				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	広域活動組織に加入していない3集落に対する加入推進のための説明		集落数	目標値	3	3	3	3	2
				実績値	3	3	3	3	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	活動集落数		集落数	目標値	75	75	75	75	75
				実績値	75	75	75	75	
	計算 根拠	活動集落数	達成率	100	100	100	100		
			実数値						
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	161,457	141,836	142,216	141,896	164,961		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	143,034	141,836	142,216	141,398	142,722		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	6	1	6	205	多面的機能支払交付金事業費	166,030	164,961
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	164,961

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	多面的機能発揮促進事業費補助金(国1/2県1/4)		128,330	
	2	農地・水保管理支払交付金過年度負担金返還金		50	
	3				
	4				
	5以降				
				合計	128,380

事業要員	正規職員	0.5
	会計年度職員	1
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	13
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき、農地維持支払、資源向上支払(共同活動)、資源向上支払(長寿命化)を実施する7組織に対して補助する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	農地の有する多面的機能発揮のために活動する7組織に対し補助を行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	特になし
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	農業水利施設保全事業
R5年度 事業名	農業水利施設保全事業

総合戦略 体系	458	『住みたいまち』で、さばえる！安心して 快適で魅力的なまちをつくる	環境にやさしい魅力的なまち	農業・農村の有する多面的機能の維持、発 揮
------------	-----	--------------------------------------	---------------	--------------------------

P L A N 計 画	部署名	土木課		開始年度	2013	終了年度	9999
	目的	農業の基盤となる農地、農業用施設等の保全管理と農村環境の向上および農業生産基盤強化を図る。					
	概要	農振農用地除外地における農業用施設の保全管理と老朽化した農業用施設の補修等の活動に対し支援する。 鯖江市2,200円/10a					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	各活動団体に対して交付する。		
	現在	補助金等交付					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	啓蒙普及、活動体制強化のための説明会の開催		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1	1	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	活動組織数		団体	目標値	9	9	9	9	9
				実績値	9	9	9	9	
	計算 根拠	活動組織数	達成率	100	100	100	100		
			実数値						
			ランク	A	A	A			
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,200	2,200	2,100	2,008	1,971		事業タイプ	単独事業
	決算額	2,112	2,075	2,038	1,761	1,929		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	6	1	6	205	多面的機能支払交付金事業費	166,030	1,971
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,971

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.17
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
有効性	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	国の多面的機能支払交付金対象外の農地における地域共同活動(農地、農業用施設等の資源の日常的な保全管理活動)に対し補助する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	国の多面的機能支払交付金の対象外の農地を保全するために活動する9組織に対し補助を行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	特になし
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	地域ぐるみ除雪機械整備費補助金
R5年度 事業名	地域ぐるみ除雪機械整備費補助金

総合戦略 体系	441	『住みたいまち』で、さばえる！安心で 快適で魅力的なまちをつくる	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
------------	-----	-------------------------------------	-------------	------------

PLAN 計画	部署名	土木課	開始年度	2013	終了年度	9999
	目的	東や市が行う学校周辺の一部の通学路の歩道を除き、歩道や幅員の狭い道路は、地域住民が協力し地域ぐるみでの除雪を行っているが、各公民館に1台ずつ配置している小型除雪車のみでは除雪効率が悪く、人員の確保も困難である。そこで、地域ぐるみで除雪を行う町内自治会等に対し、除雪機械および除雪用付属品の購入費を補助することにより、地域除雪体制の強化を図り、雪に強く快適なまちづくりを推進する。				
	概要	補助対象者：町内自治会等、本市の市道および歩道または公共施設の除雪を行うことを確約した団体 対象経費：除雪機械および除雪用付属品の購入費 <補助率> 手押し小型除雪機 … 対象経費の2／3以内(補助限度額140万円) ホイールローダ … 購入費全額(補助限度額600万円) ※ R4.4 要綱改正				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
	現在	補助金等交付		町内自治会等、本市の市道および歩道または公共施設の除雪を行うことを確約した団体での除雪機械および除雪用付属品の購入費に対し、予算の範囲内において補助金を交付し、地域除雪体制の強化を図り、雪に強く快適なまちづくりを推進する。		

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
区長会への事業説明		回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
除雪機械購入費に対する補助実施数		件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	4	2	1	0	
計算 根拠	補助実施数		達成率	400	200	100	0	
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	1,400	8,800	2,800	2,800	2,800
決算額	977	7,559	727	996	0

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	8	2	2	203	道路除雪費	356,428	2,800
2							
3							
4							
5以降							
						合計	2,800

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1	集落活性化支援事業(R4終了) ※別事業に承継予定	1,400
2		
3		
4		
5以降		
		合計 1,400

事業要員

正規職員	0.1
会計年度職員	
※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	11
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない

有効性

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒ 維持
取組内容	地域除雪体制の強化を図り、雪に強く快適なまちづくりを推進するため、要望調査の結果を踏まえ、町内会に除雪機購入費への補助を行う。
来年度へ向けて	R5年度の実績 地域除雪体制の強化を図り、雪に強く快適なまちづくりを推進するため、石田上町に除雪機購入費への補助を行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 地域ぐるみで除雪に取り組む自治会数を増やすために、本補助制度の周知・啓発を行う必要がある。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし
	R7方向性⇒ 維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	除雪オペレーター育成支援事業費
R5年度 事業名	除雪オペレーター育成支援事業費

総合戦略 体系	441	『住みたいまち』で、さばえる！安心で 快適で魅力的なまちをつくる	強靱で安全・安心なまち	防災・防犯対策の推進
------------	-----	-------------------------------------	-------------	------------

P L A N 計 画	部署名	土木課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	除雪オペレータの高齢化や人員不足に対応するため、除雪機械の運転に必要な免許取得および技能講習に係る費用の補助を行い、除雪機械の運転手となる若手人材を育成し、持続可能な除雪体制や冬期間の安全安心な道路交通の確保を図ることを目的とする。				
	概要	市道の除雪を行う除雪協力企業を補助の対象とし、大型特殊免許の取得費用および労働安全衛生法第 61 条に基づく車両系建設機械運転技能講習の受講費を補助対象経費として、オペレータ1名につき2分の1を補助する。なお7万円を限度とする。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容		
	現在	市直営				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	除雪協力企業に対しリーフレット等で事業の周知を図る。		回	目標値		1	1	1	1
				実績値		1	1	1	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	免許を取得したオペレータ数		人	目標値		19	10	10	10
				実績値		13	6	7	
	計算 根拠			達成率		68.4	60.0	70	
				実数値					
			ランク		C	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	申請数が見込みよりも少なかったため								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額			1,400	700	700		事業タイプ	単独事業
	決算額			699	320	391		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	8	2	2	203	道路除雪費	356,428	700
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	700

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
9	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(業務プロセスの改善)
取組内容	前年度に実施した除雪協力企業に対する免許取得アンケートにおいて要望のあった企業に補助を行う。 ○10名×7万円＝70万円	

来年度へ向けて	R5年度の実績	除雪協力企業(6社)から、計6名分の申請があり、当該企業に補助を行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	除雪機械の運転手となる若手人材を育成し、持続可能な除雪体制を構築するため、本補助制度の周知・啓発を行う必要がある。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	本補助制度の周知・啓発を行う。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円): 0	
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円): 0	